

シンポジウム

# 子ども・若者の貧困を考える ～貧困の実態と打開のための課題～

日時

6月19日(日) 9:30～12:00  
(受付 9:00～)



会場

サンシツ+プとやま 福祉ホール

(富山市安住町 5-21 TEL076-432-6141 県庁西側)

コーディネーター

村上 満さん(富山国際大学こども育成学部教授)

シンポジスト

田辺恵子さん、高沢満里子さん(オタヤこども食堂運営)

西山貞義さん(弁護士、反貧困ネットワークとやま共同代表)

根津 敦さん(ファミリー夢想者くらぶ代表)

《 進行 》 9:30～

- コーディネーターから  
基調報告と問題提起
- シンポジストからの  
報告・発言
- 質疑・応答と討論
- シンポジストから発言
- コーディネーターによるまとめ

コロナ禍で深刻化する「貧困」は、社会との「つながり」を失うことでいっそう困難の度合いを深めます。ここ富山県でも貧困の中に取り残される子どもや若者たち…。子どもとその家族、若者たちへの支援は、栄養・経済面だけではなく地域や社会とのつながりを結んでいくことも必要です。子ども食堂など、県内でそれぞれの立場から子ども・若者の支援を進めるシンポジストのみなさんに、現場から見える貧困の実態と、その解消のための課題を語っていただきます。

6月18日(土)～19日(日)開催の、第30回非正規ではたらくなかまの全国交流集会(主催:全労連非正規センター/富山実行委員会)の企画です。集会全体の内容は裏面をご覧ください。オンライン参加もできます!  
参加費(1,000円、2日間参加・一部参加とも)は、高教組組合員は高教組が負担します。分会長さんにお申し出ください。他組織の方は各所属組織にご相談ください。多数のご参加をお待ちしています!!

# 第30回 パート・派遣など 非正規ではたらくなかまの 全国交流集会 in 富山

格差をなくし誰もが希望を持てる公正な社会をみんなでつくろう!

6/18  
(1日目) 土

**全体会 (オンライン併用)**  
13:00 (12:00 受付開始) ~ 17:00 (終了後パレード)

**記念講演** 「格差を正し誰もが笑顔で暮らせる社会を  
~コロナ禍、困窮者支援の現場から~」

**会場** 富山県教育文化会館ホール (web併用)

**講師** 雨宮処凛さん  
(作家・活動家)



6/19  
(2日目) 日

**分科会** 分科会①~⑦  
9:30 (9:00 受付開始) ~ 12:00 分科会・講座  
シンポジウム

**会場** 富山県民会館 サンシップとやま

**サンシップ 601**

**1 大都市と地方の最低生計費調査から見てもわかる  
~全国一律最低賃金制の必要性~**

最低生計費は全国どこでも同じ、誰でも月額24万円、時給1,500円以上。東京でも足りない最低賃金。最低生計費をガッツリ学んで、全国一律最低賃金制の確立にゴー!

助言者 中澤 秀一さん (静岡県立大学短期大学部 准教授)

**サンシップ 603**

**2 全国一律最低賃金制度と1,500円以上の実現を!**

全労連の「最賃アクションプラン2024」具体化のために地域や、職場で進めている運動の実践を学び、「こんなことやってみよう!」と具体化をすすめる交流会をおこないます。

助言者 黒澤 幸一さん (全労連事務局長)

**サンシップ 604**

**3 学んで交流し「非正規差別NG運動」で均等待遇を実現させよう**

郵政20条裁判とパート・有期労働法の具体的な活用方法を学びます。さらに22春闘の実践交流で、「非正規差別NG」「一時金差別NOキャンペーン」を大きく広げます。

**県民会館 604**

**4 仲間づくりに踏み出そう**

要求を実現するために必要な「仲間づくり」をどうすすめればよいか。先進的な取り組みに学び、グループワークで「どうして?」「どうやったら?」を追究します。

**サンシップ 703**

**5 非正規公務員の待遇改善をめざして**

公務・公共サービスは非正規労働者によって担われています。処遇格差が大きくジェンダー不平等も深刻な非正規公務員。職場の実態と運動のあり方を対話しましょう。

助言者 川村 雅則さん (北海学園大学)

**サンシップ 701**

**6 介護労働者の処遇改善と地域の仲間づくり**

処遇改善事業の状況を交流し、10月以降の制度化にむけてどう運動をつくっていくか交流します。処遇改善加算を使った賃金・労働条件改善のとくみも交流します。

**7 動く分科会 米騒動現地見学と講演**

生活苦に声をあげた越中のおかかたち。魚津漁港近くの米騒動発祥の地と海の駅(魚介類あり、昼気楼も?)に行きます。行きのバス内では米騒動の講演もあります。

参加費 1,500円 先着25名まで

**基礎講座 (9:30~12:00)**

**①無期転換ルール見直し内容と今後の運動の課題**

安心して働き続けられる無期転換ルールのはずが、権利を侵害されるかもと不安で無期転換の申し込みができない、また5年前に雇止めになる労働者がいるなどルールの見直しが必要です。無期転換後も処遇が改善されず非正規雇用の待遇改善はすすんでいません。各地の事例をもとに今後の運動の課題について学びます。

講師 伊藤 圭一さん (全労連)

**県民会館 401**

**②非正規雇用とジェンダー平等**

女性労働者の約6割は非正規雇用です。賃金は男性の非正規労働者と比べて大きな格差があります。コロナ禍では最もしわ寄せを受け、「雇用の調整弁」としての弱い立場が浮き彫りになりました。こうした問題をジェンダーの視点で問い直し、背景にある課題を考え、今後の運動につなげます。

講師 青龍 美和子さん (東京法律事務所)

**県民会館 611**

**シンポジウム (9:30~12:00)**

**サンシップ福祉ホール**

**子ども・若者の貧困を考える  
~貧困の実態と打開のための課題~**

コロナ禍で深刻化する「貧困」は、社会との「つながり」を失うことでいっそう困難の度合いを深めます。「子ども食堂」とりくみは、栄養面での支援だけでなく、子育て家族を地域とつなぐ場所にもなっています。富山県の子供食堂から見える子ども・若者の貧困の実態と、その解消のための課題を、様々な立場から語り合います。

2日目にオンライン参加できるのは、  
基礎講座・シンポジウムと  
分科会①・⑥のみです